

議題 2

平成 27 年度大阪府公立学校教員採用選考テストについて

平成 27 年度大阪府公立学校教員採用選考テストの見直しの概要を別紙のとおりとする。

平成 25 年 10 月 25 日

大阪府教育委員会

< 参考 >

[趣旨]

平成 27 年度大阪府公立学校教員採用選考テストの主な変更点について、委員会に意見を求める件。

[参考規定]

教育公務員特例法

(採用及び昇任の方法)

第十一条 公立学校の校長の採用並びに教員の採用及び昇任は、選考によるものとし、その選考は、大学附置の学校にあつては当該大学の学長、大学附置の学校以外の公立学校にあつてはその校長及び教員の任命権者である教育委員会の教育長が行う。

教員チャレンジテスト[仮称]の創設 ～全国初～

- 大学二・三回生や社会人等をターゲットに実施
- 教員に必要な教職教養等を出題。
- 一定水準以上の得点者は、後二ヶ年度の教員採用テストにおいて、一次筆答（択一式）を免除。
- 早期に教職志願を固めさせ、学校ボランティア等の実践的なトレーニングの機会増加を期待。理工系学生の実験実習本格化前の受験可能。
- 社会人の複数年度の計画的な受験準備を支援。

H27年度教員採用選考(H26年度実施)について ～優秀な人材確保に向けて～

1. 一次筆答テストの出題分野の見直し ～改善～

- 教員の職務に直結する教職教養に重点化した出題に転換。
- 府教育に関する関心・理解や教育公務員の服務・倫理等に関する問題も出題。
- 一般的な常識、教養については、面接試験で確認。教科・科目の専門性は従前どおり二次専門テストで担保。

2. 他府県での試験会場の変更 ～改善～

- 一次面接を名古屋、岡山で実施。（従前の福岡会場は廃止）

3. 特別支援学校教諭免許の保有率向上策を検討 ～改善～

- 免許保有者に対する優遇措置の検討
（例：中学校・中学部、高校・高等部の選考区分において、当該免許を保有している場合、一次、二次選考で得点を付与）